

長野経済研究所プレスリリース ～消費動向調査結果(2018年年末調査)～ 県内消費者の今年の漢字は昨年に続き「忙」が最多

本調査は、来年の消費動向について、景況感や消費意識に関わるテーマに対する考え方を分析するため、県内世帯を対象に実施した。

👉 調査結果のポイント

<県内消費者の今年を表す漢字一文字>

1位は昨年に続き「忙」。昨年同様、多忙な1年となったことがうかがえる

- ・ 今年を表す漢字一文字は、1位「忙」、2位「苦」、3位「忍」、4位「変」、5位「耐」(図表1)。
- ・ 1～5位までは順位の変動はあったものの前年と同じ漢字が並び、厳しいイメージの漢字が上位となった。一方、7位「健」、8位「楽」、13位「幸」などプラスをイメージする漢字は、これらの後に続いた。

<平成に関する出来事などについて>

平成を表す漢字一文字：1位は「変」、印象の強かった平成の出来事：1位は「東日本大震災」、

長野県内において印象の強かった平成の出来事：1位は「長野五輪開催」

- ・ 平成を表す漢字一文字は、1位「変」、2位「災」、3位「激」、4位「動」、5位「平」(図表2)。
- ・ 印象の強かった平成の出来事は、1位「東日本大震災」、2位「地下鉄サリン事件」、3位「長野五輪開催」(図表3)。
- ・ 長野県内において印象の強かった平成の出来事は、1位「長野五輪開催」、2位「松本サリン事件」、3位「御嶽山噴火」(図表4)。

<世の中の景気の見方について>

2019年の「世の中の景気」の見通し：半数近くが景気の悪化を見込む

<自身の生活(家計)の見方について>

2019年の「自身の生活(家計)」の見通し：約5割が厳しい見方

<商品・サービスの購入(利用)経験・意向>

来年、参加(実施)したいイベント：「旅行」、「花火大会」、「音楽イベント」、「観劇・映画」が上位

<来年の消費増加につながるキーワード>

来年の消費増加につながると考えられるもの：「家族」、「健康維持・増進」、「趣味」、「将来」

～ 調査から見る18年の振り返りと19年の展望 ～

- ・ 県内消費者の今年を表す漢字は、2年連続で「忙」が最多となった。緩やかな景気回復が続く中、人手不足などを背景に引き続き仕事が多忙であったことや、共働きなど家庭においても忙しさを感じる消費者が多かったとみられる。
- ・ 2019年の景気見通しは、消費税増税など家計への負担増加に伴い慎重な見方をする消費者が多い。
- ・ 来年は改元という大きな節目の年になり、祝賀ムードを盛り上げるイベントや10連休が予定されている。大きな変化をきっかけに、消費者マインドが改善することが期待される。

<お問い合わせ先>

一般財団法人 長野経済研究所 電話：026-224-0501
担当：調査部 上席研究員 桑井 裕至
研究員 高橋 博志

【調査の概要】

「消費動向調査」アンケート実施概要

調査時期： 2018年11月中旬

調査対象： ブルーカード会員のうち、
長野県内在住の消費者 2,427世帯

回答属性： 性別 男性 43.9% 女性 56.1%

世帯主年齢

20代	2.3%
30代	11.2%
40代	26.7%
50代	31.2%
60代	18.9%
70以上	9.6%

居住地

北信	59.7%
東信	4.8%
中信	15.8%
南信	19.7%

調査方法： インターネット調査

※四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。

<県内消費者の今年を表す漢字一文字>

◆ 今年を表す漢字：1位は昨年に続き「忙」

- 今年を表す漢字一文字を尋ねたところ、1位は昨年に続き「忙」となった。次いで「苦」「忍」「変」「耐」との順になっている（図表1）。
- 「忙」は2年連続で1位となり、昨年に引き続き多忙な1年であったことがうかがえる。また、1～5位までは、順位の変動はあったものの前年と同じ漢字が並び、仕事面や生活面などで厳しい状況を示す漢字が上位となった。
- 一方、7位「健」、8位「楽」、13位「幸」といったプラスをイメージする漢字は、これらの後に続いた。
- 前年の12位から6位へ上昇した「平」は、平成が終わることなどから割合が高まったとみられる。また、前年20位以内になかった「災」や「暑」は、地震や台風、酷暑といった、今年多く発生した自然災害を背景に20位以内に入ってきたとみられる。

図表1 今年を表す漢字一文字（上位20字）

順位		漢字	回答割合(%)	
18年	17年		18年(n=2427)	17年(n=2794)
1	1	忙	5.15	6.94
2	3	苦	4.86	3.51
3	2	忍	3.75	3.90
4	5	変	3.58	3.40
5	4	耐	3.46	3.40
6	12	平	2.47	1.72
7	7	健	2.22	2.93
8	8	楽	2.10	2.54
9	-	☆ 災	2.02	0.21
10	6	疲	1.98	2.97
11	13	無	1.90	1.65
12	11	病	1.77	1.79
13	10	幸	1.40	1.86
14	9	新	1.32	1.90
15	-	☆ 暑	1.24	0
16	-	☆ 痛	0.99	0.75
17	-	☆ 転	0.95	0.64
17	15	動	0.95	1.11
19	20	難	0.87	0.86
19	-	☆ 穩	0.87	0.61
19	17	悩	0.87	0.97

(注) ☆は17年の順位が20位以下のもの

<平成に関する出来事などについて>

◆ 平成を表す漢字一文字：1位は「変」

- ・ 来年4月で平成が終わり、新元号へと移行する。そこで、平成に関する意識調査を行った。
- ・ まず、平成を表す漢字一文字を尋ねると、1位は「変」となった。次いで「災」「激」「動」「平」の順になっている（図表2）。
- ・ 1位「変」は、消費税導入や冷戦終結といった社会の変化やITの進化に伴う技術の変化など、平成という時代の中でさまざまな変化があったことを踏まえて選ぶ消費者が多かったとみられる。3位「激」、4位「動」も同様に、こうした時代の動きを表す一文字として選ばれ、また、昭和と比較して、平成は変化が激しかったと感じる消費者も多かったものとみられる。
- ・ 2位「災」や6位「乱」、10位「震」は、東日本大震災や阪神・淡路大震災をはじめとした大きな災害やテロ事件、戦争など理由に選ぶ消費者が多かった。
- ・ また、8位「生」、9位「新」、11位「家」、13位「和」、14位「育」は、結婚や新たな家族の誕生など、30年間のさまざまなライフイベントに関連し選ばれたものとみられる。

図表2 平成を表す漢字一文字（上位20字）

順位	漢字	回答数 (n=2427)
1	変	274
2	災	201
3	激	121
4	動	105
5	平	95
6	乱	73
7	成	69
8	生	66
9	新	49
10	震	46
11	家	36
11	波	36
13	和	35
14	育	33
14	楽	33
14	進	33
17	無	26
18	幸	25
18	税	25
18	早	25

◆ 印象の強かった平成の出来事：1位は「東日本大震災」

- ・ 次に、印象の強かった平成の出来事を尋ねた。回答割合が最も高かったのは「東日本大震災」で77.5%だった。続いて「地下鉄サリン事件」(51.2%)、「長野五輪開催」(48.0%)、「阪神・淡路大震災」(45.4%)、「消費税導入」(37.6%) などとなった(図表3)。
- ・ 災害や事件などが上位を占めたが、長野五輪が3位となった。また、消費税導入やバブル崩壊、リーマンショックなど経済に関する出来事も比較的高い割合となった。
- ・ 年代別では、いずれの世代も「東日本大震災」が1位となった。

図表3 印象の強かった平成の出来事(上位15項目)

順位	出来事	回答割合 (n=2427) (%)
1	東日本大震災(平成23年)	77.5
2	地下鉄サリン事件(平成7年)	51.2
3	長野五輪開催(平成10年)	48.0
4	阪神・淡路大震災(平成7年)	45.4
5	消費税導入(平成元年)	37.6
6	9.11米同時多発テロ(平成13年)	29.2
7	バブル崩壊(平成3年)	28.6
8	リーマン・ショック(平成20年)	21.3
9	ベルリンの壁崩壊、冷戦終結(平成元年)	13.8
10	湾岸戦争(平成3年)	8.3
11	郵政民営化(平成19年)	7.3
12	アベノミクス開始(平成24年)	4.80
13	ソ連崩壊(平成3年)	4.76
14	イラク戦争(平成15年)	3.66
14	サッカー・ワールドカップ日韓大会(平成14年)	3.66

<参考>年代別の印象の強かった平成の出来事（上位10項目）

20代

(%)

順位	出来事	回答割合
1	東日本大震災(平成23年)	82.3
2	長野五輪開催(平成10年)	50.6
3	9.11米同時多発テロ(平成13年)	23.2
4	阪神・淡路大震災(平成7年)	22.6
5	地下鉄サリン事件(平成7年)	19.3
6	リーマン・ショック(平成20年)	19.2
7	消費税導入(平成元年)	16.6
8	バブル崩壊(平成3年)	9.0
9	サッカー・ワールドカップ日韓大会(平成14年)	7.0
10	アベノミクス開始(平成24年)	5.7

50代

(%)

順位	出来事	回答割合
1	東日本大震災(平成23年)	74.2
2	地下鉄サリン事件(平成7年)	56.6
3	長野五輪開催(平成10年)	54.5
4	阪神・淡路大震災(平成7年)	48.0
5	消費税導入(平成元年)	41.9
6	バブル崩壊(平成3年)	33.7
7	9.11米同時多発テロ(平成13年)	29.4
8	リーマン・ショック(平成20年)	20.5
9	ベルリンの壁崩壊、冷戦終結(平成元年)	19.0
10	湾岸戦争(平成3年)	11.3

30代

順位	出来事	回答割合
1	東日本大震災(平成23年)	80.9
2	長野五輪開催(平成10年)	61.3
3	地下鉄サリン事件(平成7年)	54.9
4	消費税導入(平成元年)	38.5
5	阪神・淡路大震災(平成7年)	33.4
6	9.11米同時多発テロ(平成13年)	32.2
7	リーマン・ショック(平成20年)	12.7
8	バブル崩壊(平成3年)	18.7
9	郵政民営化(平成19年)	11.0
10	サッカー・ワールドカップ日韓大会(平成14年)	7.7

60代

順位	出来事	回答割合
1	東日本大震災(平成23年)	82.5
2	地下鉄サリン事件(平成7年)	54.5
3	阪神・淡路大震災(平成7年)	53.1
4	バブル崩壊(平成3年)	47.5
5	長野五輪開催(平成10年)	39.8
6	消費税導入(平成元年)	38.4
7	9.11米同時多発テロ(平成13年)	30.1
8	リーマン・ショック(平成20年)	24.0
9	ベルリンの壁崩壊、冷戦終結(平成元年)	17.9
10	湾岸戦争(平成3年)	6.4

40代

順位	出来事	回答割合
1	東日本大震災(平成23年)	73.9
2	地下鉄サリン事件(平成7年)	49.6
3	長野五輪開催(平成10年)	49.5
4	阪神・淡路大震災(平成7年)	44.6
5	消費税導入(平成元年)	43.4
6	9.11米同時多発テロ(平成13年)	24.5
7	バブル崩壊(平成3年)	20.3
8	ベルリンの壁崩壊、冷戦終結(平成元年)	15.7
9	リーマン・ショック(平成20年)	14.9
10	湾岸戦争(平成3年)	9.3

70代以上

順位	出来事	回答割合
1	東日本大震災(平成23年)	72.7
2	地下鉄サリン事件(平成7年)	61.5
3	阪神・淡路大震災(平成7年)	61.2
4	消費税導入(平成元年)	38.8
5	バブル崩壊(平成3年)	37.8
6	長野五輪開催(平成10年)	35.5
7	9.11米同時多発テロ(平成13年)	34.6
8	リーマン・ショック(平成20年)	27.3
9	ベルリンの壁崩壊、冷戦終結(平成元年)	17.4
10	湾岸戦争(平成3年)	14.4

◆ 長野県内において印象が強かった平成の出来事：1位は「長野五輪開催」

- ・ 続いて、長野県内において印象が強かった平成の出来事を尋ねた。
- ・ 最も高かったのは「長野五輪開催」で64.7%だった。続いて「松本サリン事件」(58.3%)、「御嶽山噴火」(47.9%)、「長野新幹線開通」(47.5%)、「小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得」(32.8%)などとなった(図表4)。
- ・ 長野県で行われた世界的なイベントである五輪の開催は、平成において県内消費者に最も印象に残る出来事であったと考えられる。
- ・ また、小平奈緒の金メダルや御嶽海の幕内最高優勝、松本山雅FCのJ1昇格なども高い回答割合となり、スポーツに関連する出来事は強く印象に残ったとみられる。
- ・ 一方で、松本サリン事件や御嶽山噴火、栄村の地震など事件や災害も上位となった。

図表4 長野県内において印象が強かった平成の出来事(上位15項目)

順位	出来事	回答割合 (n=2427)
1	長野五輪開催(平成10年)	64.7
2	松本サリン事件(平成6年)	58.3
3	御嶽山噴火(平成26年)	47.9
4	長野新幹線開通(平成9年)	47.5
5	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	32.8
6	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	30.7
7	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	25.3
8	長野自動車道全線開通(平成5年)	24.4
9	NHK大河ドラマ「真田丸」放送(平成28年)	16.9
10	北陸新幹線の開業区間が東京-金沢区間に延伸(平成27年)	14.8
11	平成の大合併(平成15~22年)	10.9
12	松本山雅FCがJ1昇格(平成26年)	10.6
13	信州博覧会開催(平成5年)	7.3
14	サイトウ・キネン・フェスティバル松本[現セイジ・オザワ 松本フェスティバル]初開催(平成4年)	7.0
15	新海誠監督(小海町出身)の「君の名は。」大ヒット(平成28年)	5.4

<参考>年代別、居住地別の長野県内において印象の強かった平成の出来事（上位10項目）

年代別

20代		(%)
順位	出来事	回答割合
1	御嶽山噴火(平成26年)	46.5
2	長野五輪開催(平成10年)	41.4
3	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	39.4
4	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	31.3
5	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	29.3
6	松本サリン事件(平成6年)	28.3
7	北陸新幹線の開業区間が東京-金沢区間に延伸(平成27年)	24.2
8	NHK大河ドラマ「真田丸」放送(平成28年)	23.2
9	新海誠監督(小海町出身)の「君の名は。」大ヒット(平成28年)	19.2
10	長野新幹線開通(平成9年)	18.2

50代		(%)
順位	出来事	回答割合
1	長野五輪開催(平成10年)	71.2
2	松本サリン事件(平成6年)	61.1
3	長野新幹線開通(平成9年)	51.6
4	御嶽山噴火(平成26年)	45.6
5	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	31.4
6	長野自動車道全線開通(平成5年)	29.8
7	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	29.6
8	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	23.9
9	NHK大河ドラマ「真田丸」放送(平成28年)	18.7
10	北陸新幹線の開業区間が東京-金沢区間に延伸(平成27年)	15.8

30代		(%)
順位	出来事	回答割合
1	長野五輪開催(平成10年)	63.6
2	松本サリン事件(平成6年)	56.2
3	御嶽山噴火(平成26年)	49.6
4	長野新幹線開通(平成9年)	40.8
5	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	36.9
5	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	36.9
7	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	31.7
8	NHK大河ドラマ「真田丸」放送(平成28年)	18.7
9	北陸新幹線の開業区間が東京-金沢区間に延伸(平成27年)	16.5
9	松本山雅FCがJ1昇格(平成26年)	16.5

60代		(%)
順位	出来事	回答割合
1	長野五輪開催(平成10年)	67.5
2	松本サリン事件(平成6年)	65.9
3	御嶽山噴火(平成26年)	62.2
4	長野新幹線開通(平成9年)	53.5
5	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	32.0
6	長野自動車道全線開通(平成5年)	30.7
7	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	26.2
8	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	25.5
9	北陸新幹線の開業区間が東京-金沢区間に延伸(平成27年)	17.3
10	平成の大合併(平成15~22年)	13.9

40代		(%)
順位	出来事	回答割合
1	長野五輪開催(平成10年)	61.4
2	松本サリン事件(平成6年)	54.8
3	長野新幹線開通(平成9年)	46.8
4	御嶽山噴火(平成26年)	39.0
5	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	31.8
6	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	31.0
7	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	23.2
8	長野自動車道全線開通(平成5年)	22.0
9	NHK大河ドラマ「真田丸」放送(平成28年)	16.9
10	松本山雅FCがJ1昇格(平成26年)	11.7

70代以上		(%)
順位	出来事	回答割合
1	松本サリン事件(平成6年)	67.4
2	御嶽山噴火(平成26年)	63.1
3	長野五輪開催(平成10年)	60.3
4	長野新幹線開通(平成9年)	51.1
5	長野自動車道全線開通(平成5年)	40.4
6	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	35.5
7	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	27.0
8	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	22.0
9	北陸新幹線の開業区間が東京-金沢区間に延伸(平成27年)	18.4
10	平成の大合併(平成15~22年)	15.6

居住地別

北信		(%)
順位	出来事	回答割合
1	長野五輪開催(平成10年)	73.5
2	長野新幹線開通(平成9年)	63.3
3	松本サリン事件(平成6年)	52.2
4	御嶽山噴火(平成26年)	42.2
5	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	28.5
6	長野自動車道全線開通(平成5年)	28.3
7	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	28.2
8	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	24.6
9	北陸新幹線の開業区間が東京-金沢区間に延伸(平成27年)	20.7
10	NHK大河ドラマ「真田丸」放送(平成28年)	18.3

中信		(%)
順位	出来事	回答割合
1	松本サリン事件(平成6年)	75.0
2	御嶽山噴火(平成26年)	54.7
3	長野五輪開催(平成10年)	51.6
4	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	37.8
5	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	34.4
6	松本山雅FCがJ1昇格(平成26年)	25.5
7	長野新幹線開通(平成9年)	23.4
8	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	20.3
9	長野自動車道全線開通(平成5年)	19.3
10	平成の大合併(平成15~22年)	15.9

東信		(%)
順位	出来事	回答割合
1	長野五輪開催(平成10年)	62.1
2	長野新幹線開通(平成9年)	56.9
3	松本サリン事件(平成6年)	56.0
4	NHK大河ドラマ「真田丸」放送(平成28年)	49.1
5	御嶽山噴火(平成26年)	39.7
6	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	31.0
7	長野自動車道全線開通(平成5年)	25.0
8	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	24.1
9	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	14.7
10	平成の大合併(平成15~22年)	12.1

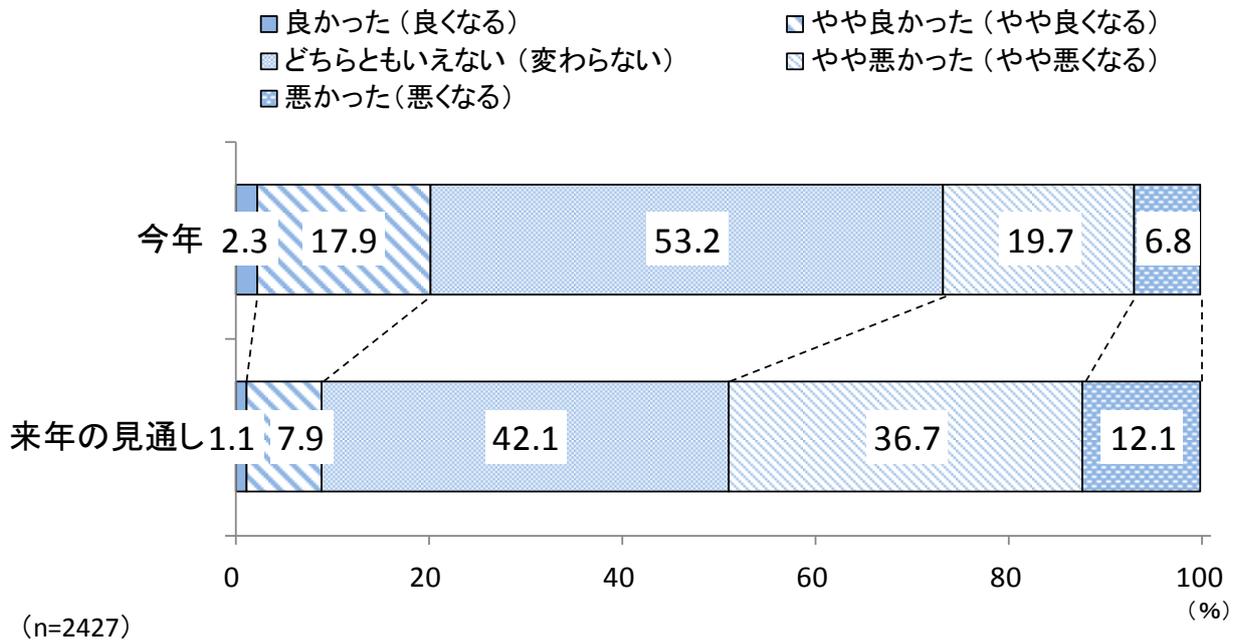
南信		(%)
順位	出来事	回答割合
1	松本サリン事件(平成6年)	63.9
2	御嶽山噴火(平成26年)	61.8
3	長野五輪開催(平成10年)	49.3
4	小平奈緒(茅野市出身)が日本女子スピードスケート史上初のオリンピック金メダル獲得(平成30年)	46.8
5	御嶽海(上松町出身)が長野県出身力士として初の幕内最高優勝(平成30年)	43.6
6	栄村で震度6強の大地震(長野県北部地震)(平成23年)	23.0
7	長野新幹線開通(平成9年)	16.7
7	長野自動車道全線開通(平成5年)	16.7
9	松本山雅FCがJ1昇格(平成26年)	15.9
10	平成の大合併(平成15~22年)	10.9

<世の中の景気の見方について>

◆ 2019年の「世の中の景気」の見通し：半数近くが景気の悪化を見込む

- ・ 18年の「世の中の景気」については、「良かった」が2.3%、「やや良かった」が17.9%となった（図表5）。一方、「悪かった」が6.8%、「やや悪かった」が19.7%となり、景気を「悪い」と感じる割合が、「良い」と感じる割合を上回った。
- ・ 19年の見通しは、「良くなる」が1.1%、「やや良くなる」が7.9%となった。一方で、「悪くなる」が12.1%、「やや悪くなる」が36.7%となった。「変わらない」は42.1%となっている。来年の景気が「悪くなる」と「やや悪くなる」とする割合は合計で48.8%と、半数近くが今年に比べて景気が悪化するという見方となっている。

図表5 世の中の景気の見方（今年と来年の見通し）

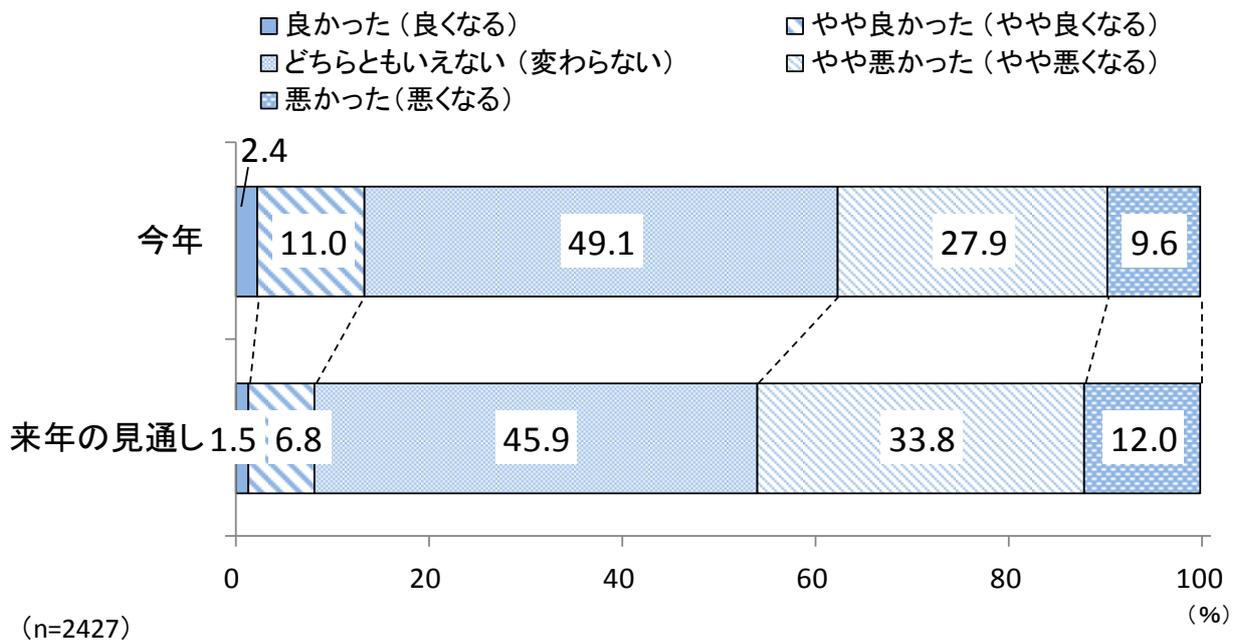


<自身の生活(家計)の見方について>

◆ 2019年の「自身の生活(家計)」の見通し：約5割が厳しい見方

- ・ 18年の「自身の生活(家計)」は、「良かった」が2.4%、「やや良かった」が11.0%だった(図表6)。一方、「悪かった」が9.6%、「やや悪かった」が27.9%となり、家計の状況を「悪い」と感じる割合が、「良い」と感じる割合を上回った。
- ・ 19年の見通しは、「良くなる」が1.5%、「やや良くなる」が6.8%となる一方で、「悪くなる」が12.0%、「やや悪くなる」が33.8%となり、今年よりも家計状況が悪くなるという割合は45.8%となっている。
- ・ 2019年は景気に対する見通しと同様に、自身の生活の見方も今年に比べ悪化すると見込む消費者が多くなっている。

図表6 自身の生活(家計)の見方(今年と来年の見通し)

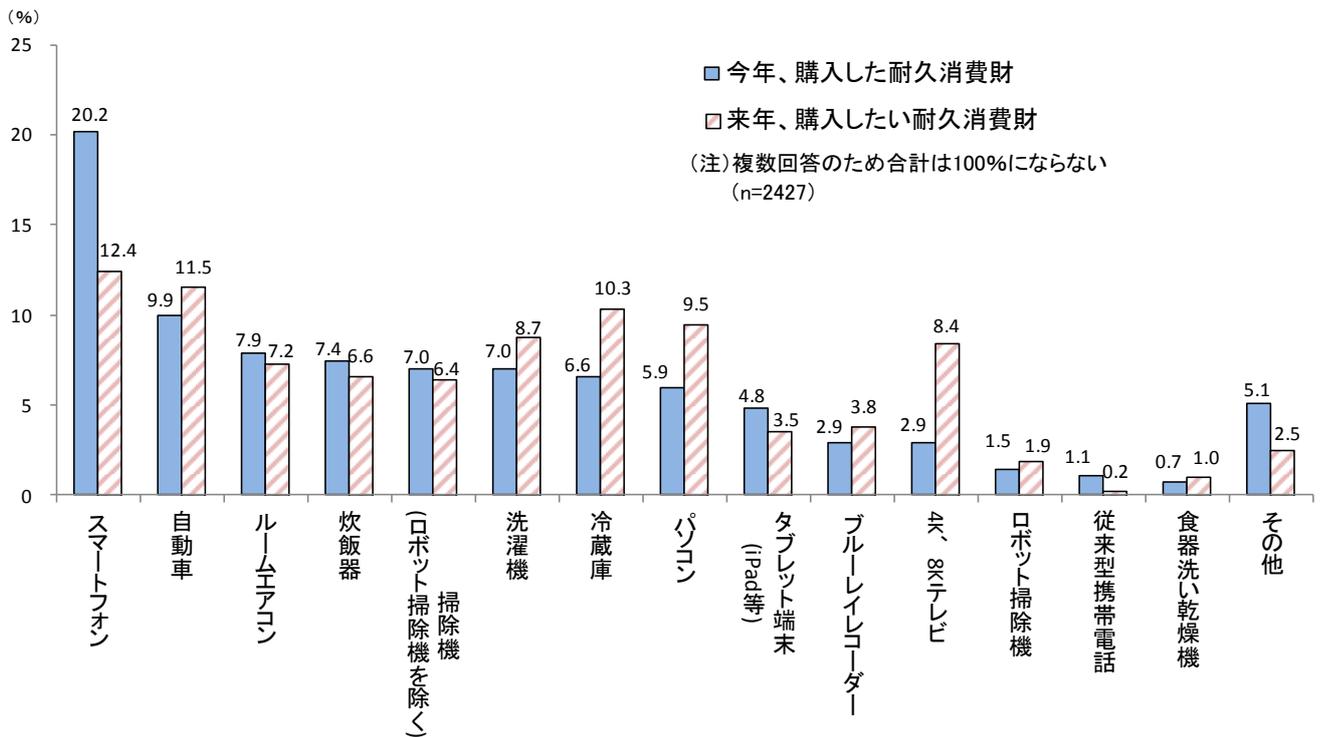


＜商品・サービスの購入(利用)経験・意向＞

◆ 2019年に購入したい耐久消費財：「スマートフォン」、「自動車」、「冷蔵庫」、「パソコン」、「4K、8Kテレビ」が上位

- ・ 耐久消費財について、今年（18年）購入したものと、来年（19年）購入したいものを尋ねた。
- ・ 今年、購入した耐久消費財は、「スマートフォン」が20.2%と最も高く、「自動車」（9.9%）、「ルームエアコン」（7.9%）、「炊飯器」（7.4%）などが続いた（図表7）。
- ・ 来年、購入したい耐久消費財は、「スマートフォン」が12.4%と今年と同様に最も高く、次いで「自動車」（11.5%）、「冷蔵庫」（10.3%）、「パソコン」（9.5%）、「4K、8Kテレビ」（8.4%）などが高くなった。
- ・ 今年に比べて来年の購入意向が高いものとして、「4K、8Kテレビ」が2.9%から8.4%へと割合を高めたのが目立つ。

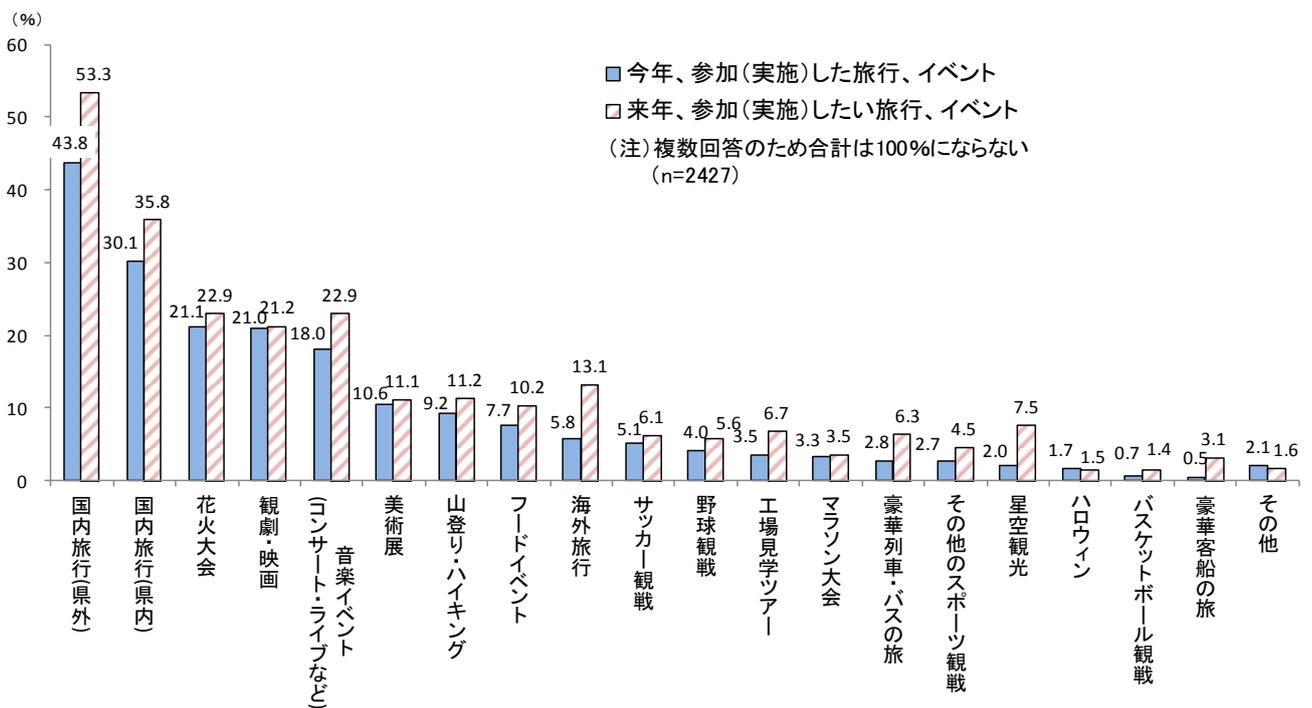
図表7 「今年、購入した耐久消費財」と「来年、購入したい耐久消費財」



◆ 来年、参加（実施）したいイベント：「旅行」、「花火大会」、「音楽イベント」、「観劇・映画」が上位

- ・ 「今年、参加（実施）した旅行、イベント」を尋ねると、「国内旅行（県外）」（43.8%）、「国内旅行（県内）」（30.1%）、「花火大会」（21.1%）、「観劇・映画」（21.0%）、「音楽イベント（コンサート、ライブなど）」（18.0%）などが高かった（図表8）。
- ・ 「来年、参加（実施）したい旅行、イベント」は、「国内旅行（県外）」（53.3%）、「国内旅行（県内）」（35.8%）、「花火大会」「音楽イベント（コンサート、ライブなど）」（22.9%）、「観劇・映画」（21.2%）が高く、今年とほぼ同様の結果となった。
- ・ また、今年の参加（実施）経験と比較して来年の参加（実施）意向が高まっているものでは、「国内旅行」や「音楽イベント」のほか「海外旅行」や「星空観光」が高くなっている。
- ・ 全体として今年の実施経験を来年の実施意向が上回っており、旅行やイベントに対する参加意向は、昨年調査同様高まる傾向がみられた。

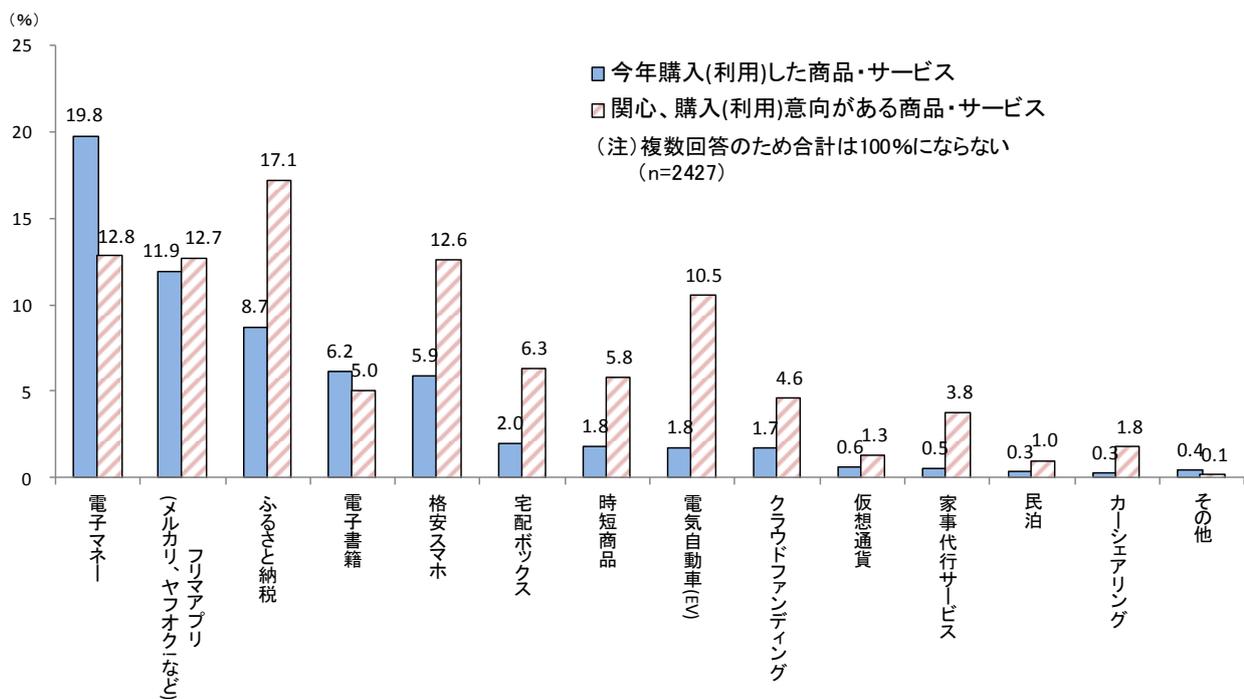
図表8 「今年、参加（実施）した旅行、イベント」と「来年、参加（実施）したい旅行、イベント」



◆ 関心、購入（利用）意向がある商品・サービス：「ふるさと納税」、「電子マネー」、「フリマアプリ」、「格安スマホ」

- ・ 近年話題を集める商品・サービスをピックアップし、「今年、購入（利用）した商品・サービス」を尋ねると、「電子マネー」（19.8%）、「フリマアプリ（メルカリ、ヤフオクなど）」（11.9%）、「ふるさと納税」（8.7%）、「電子書籍」（6.2%）、「格安スマホ」（5.9%）などが高かった（図表9）。
- ・ 関心、購入（利用）意向がある商品・サービスは、「ふるさと納税」（17.1%）、「電子マネー」（12.8%）、「フリマアプリ（メルカリ、ヤフオクなど）」（12.7%）、「格安スマホ」（12.6%）、「電気自動車（EV）」（10.5%）が高くなった。
- ・ 特に、「ふるさと納税」、「格安スマホ」、「電気自動車（EV）」は、今年の購入（利用）経験と比較して、関心や購入（利用）意向が高くなっている。

図表9 「今年、購入（利用）した商品・サービス」と「関心、購入（利用）意向がある商品・サービス」

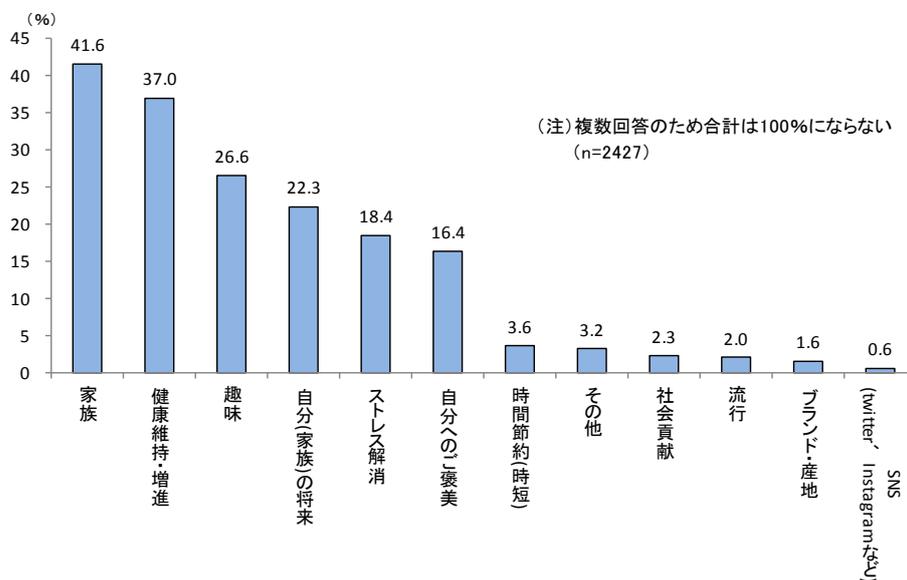


<来年の消費増加につながるキーワード>

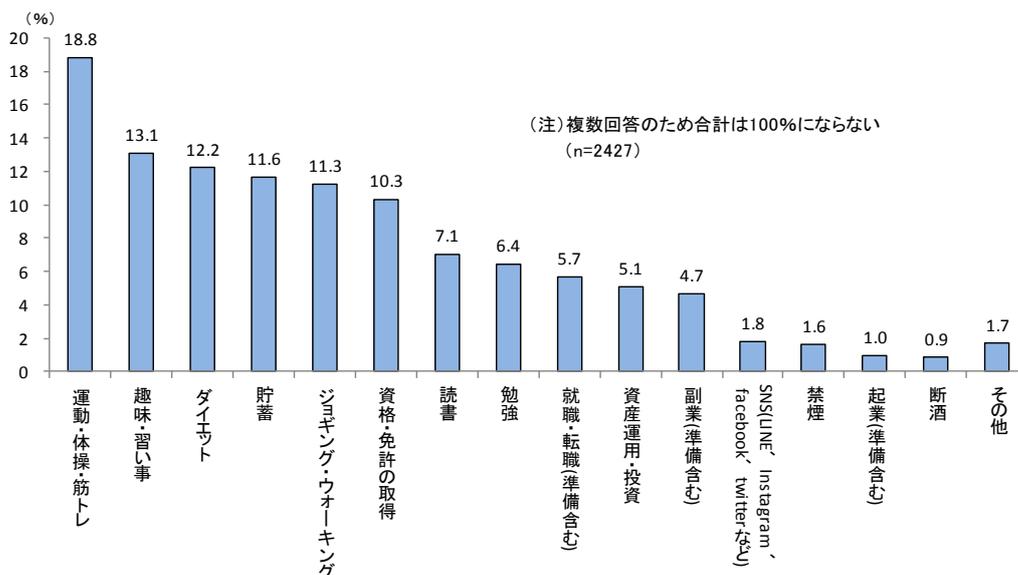
◆ 来年の消費増加につながると考えられるもの：「家族」、「健康維持・増進」、「趣味」、「将来」

- ・ 「来年の消費を考えるうえで、支出増加につながると考えられるもの（キーワード）」を尋ねると、「家族」が41.6%と最も高く、次いで「健康維持・増進」(37.0%)、「趣味」(26.6%)、「自分(家族)の将来」(22.3%)、「ストレス解消」(18.4%)、「自分へのご褒美」(16.4%)などが高くなった(図表10)。
- ・ 「来年、新しく取り組みたいこと」では、「運動・体操・筋トレ」(18.8%)、「趣味・習い事」(13.1%)、「ダイエット」(12.2%)、「貯蓄」(11.6%)、「ジョギング・ウォーキング」(11.3%)などが上位となった(図表11)。

図表10 来年の消費を考えるうえで、支出増加につながると考えられるもの（キーワード）



図表11 来年、新しく取り組みたいこと



以上